

さつき All for one ～思いやりの心と、思いを貫く強さを持って～

平成 30 年 8 月 22 日
第 2 学期 始業式より

おはようございます。

暑くなることが予想されたので、今日の始業式も放送で行うことにしました。
夏休み明けに、皆さんの顔を見ることができなくて残念ですが、元気ですか？

- 1 学期の終業式で、こんな言葉を紹介しました。
ラグビーでよく使われる、“One for all, All for one” という言葉。（覚えていますか？）

One for all は「一人はみんなのために」、
All for one は「みんなで一つの目的のために」
トライを決めるのは誰か一人だけれど、
そこへ到達するために、みんなで力を合わせる。
それが自分自身ものすごく心地よくて、
その姿勢が見ている人々の心をも動かす、と。



夏休み、そんな経験できましたか？

毎日のように、コツコツと学校の講習に通う人たちがいました。
多くのクラブが、大会や発表会などで精一杯の頑張りを見せてくれました。
私も、試合の応援に行ったり、演奏を聴いたり、作品を見せてもらったりして、
気持ちのいい時間を過ごすことができました。 どうもありがとう。
これから試合、というクラブもありますね。 頑張ってください。

- この夏休み、一番驚いたニュース、
「こんな人がいるのか」と思ったのが、尾畠春夫さん。
先日、山口県で 2 歳の男の子が行方不明になって、警察や消防などが 150 人態勢で捜索したけれど、3 日間 見つからない。4 日目の朝、そこに駆けつけ、探し始めてから 20 分ほどで男の子を見つけ出した、ボランティアのプロフェッショナル。

尾畠さんは、65 歳まで大分県で魚屋さんをされていて、その後、ボランティア活動を始めて 13 年。これまでも、東日本大震災や九州の大雨土砂災害などの支援にボランティアとして力を尽くして来られたとのこと。

今回も大分県から山口県まで車を飛ばして駆けつけ、男の子を探し出した後は西日本豪雨の被災地・広島へ戻り、今もチームリーダーとして汗を流しておられるそうです。

「大分からわざわざ？」と聞かれ、「わざわざじゃない、日本人だから」との答え。
78 歳とは思えない、元気な、赤い鉢巻のスーパーおじいちゃん。

「ボランティアに対価は払わない」という信念を貫き通し、男の子を見つけた後にその子のおじいさんからお風呂や食事を勧められても、きっぱりと断っておられた。

座右の銘は「朝は必ず来る」

被災者の中には精神的に疲れた方もいらっしゃるので、そのとき「朝は必ず来る」と語るのだとか。

尾畠さんが言うと説得力があって、頑張ろうという気持ちになるのだそうです。



困っている人に自然と手を差し伸べられる思いやりの心と、自分の思いを貫く強さを持っている人は、本当にかっこいい。

●2学期は、文化祭から始まって、2年生は12月に修学旅行。

これから、仲間と力を合わせて取り組む行事が多くなる。

いよいよ“All for one”の本番です。

「友達づきあいは苦手」という人も、

学校行事のときという期間限定でいいから、**団結の輪の中に入って一生懸命やってみよう。**

そして、3年生にとっては、進路を決める正念場。これも“All for one”です。

しんどくなれば、隣で頑張っている友達の姿を見てごらん。一人じゃない。

そして、**最後にものを言うのは、自分の思いを貫く強さです。**

「この夏休み、結局何もでけへんかった」と思っている人いませんか？

大丈夫、夏の成果は秋に出る。だから、頑張り続けよう。

まだまだ残暑厳しいけれど、

やがてきっとさわやかな風が吹き、「実りの秋」となる。

●1年生も、2年生も、3年生も、

思いやりの心と、思いを貫く強さを持ち、

“さつき All for one”で頑張ろう！

これから皆さんが益々かっこよくなることを期待して、

第2学期 始業式の言葉とします。

